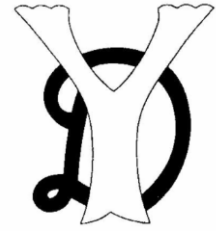


横浜市立

ろう特別支援学校



令和3年度学校便り No. 8

ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

オミクロン株の急激な広がりに伴い、落ち着かない日々が続いています。学校としてこれまでも増して丁寧に感染予防対策を講じ、子どもたちが安心して過ごせるよう努めていきます。一人ひとりが気を付けなければならない基本的対応はこれまでと変わりません。もうすっかり習慣付いていることと思いますが、改めて気を引き締めていきましょう。

わたしたちの学校のプチ自慢

『世の中はつらいこといっぱいですが、それに打ち勝つことも満ち溢れています。』

だれの名言か、みなさんわかりますか。世界の偉人、ヘレンケラー（1880～1968年）です。ヘレンケラーはみなさん知っていますよね。では、わたしたちの学校の先輩たちが、そのヘレンケラーに会っていたことを知っていますか。

私がこのことを知ったのは、この学校に転勤してきた1年目、小学部の先生が開校記念日のお話を子どもたちにしているときでした。学校の長い歴史を説明するプレゼンテーションの1枚にヘレンケラーと当時の本校の児童生徒との写真が添えられていました。すごい！あのヘレンケラーと？と私は大変驚いたとともに、いろいろな意味で感慨深い気持ちになったことを覚えています。

ヘレンケラーが初めて来日した1937年、開港記念会館で歓迎の式典が行われ、本校の児童が劇や遊戯を披露したそうです。当時の先生がヘレンケラーのことを「教育学の教科書に載っていて歴史上の人物とばかり思っていたので実に驚きました」と、創立70周年記念誌『ときわの丘』で記しています。

ヘレンケラーと聞くと、「三重苦の人」、「奇跡の人」などが思い浮かびます。でも、彼女の具体的な活動はあまり知られていないようにも思います。簡単に記しますと・・・

ヘレンケラーは家庭教師のサリバン先生との出会いで言葉を知り、盲学校やろう学校で学びを重ねて、20歳で今のハーバード大学に入学します。4年後、文学士の称号を得て卒業。29歳のときにアメリカ社会党に入党して多くの政治的・人道的な運動に参加します。職業は、教育家、社会福祉活動家、著作家といわれ、世界各地を歴訪して障害者の教育、福祉の発展に尽くしました。日本には、1937年、1948年、1955年の3度訪れ、全国で講演をし、瑞宝章が贈られています。1964年にはアメリカで文民最高位の勲章、大統領自由勲章が贈られています。

こんなに偉大なヘレンケラーとの貴重な交流は、この学校の自慢になるように思います。小学部では毎年、開校記念日のお話の際に触れています。ヘレンケラーの素晴らしさを知るとともに自分たちの学校のこと、先輩たちのことをちょっとすごいと思ってもらえるといいなと思います。

ヘレンケラーは功績だけでなく、冒頭に紹介したような言葉もいろいろ残しています。このご時世、つらいこともあります。ぜひ皆で力を合わせて打ち勝っていきましょう！

各部の便りから

—各学部の取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップして紹介します—

乳幼児教育相談

1歳児のAさんの記録です。「車で出かけるときに、『出発進行』の手話をするようになった。」
「お片付けがどんどん上手になってきている。普段片付けないものでも、音声と手話で指示するとわかるようになってきている。」場面の状況を理解できるようになると、お子さんからの発信増えてきます。お子さんと楽しみながら、ことばをかけていきましょう。

3歳になったBさんの記録です。「Bがゾウの絵を見て、指差したので、『これはゾウだよ。』と音声+手話で伝えました。最初は真似しませんでした。指差し→母を見る→ゾウの手話を見せる、という流れを3回繰り返したら、Bも『ゾウ』の手話をやってくれました。」粘り強く頑張っていますね、お母さん！

真似を誘うことばは、お子さんが理解していてその場で言いそうなことばです。日本語（手話）ではこのように表現するという経験を積み重ねることが大切であり、お子さんが自然に真似したいと思う信頼関係があってこそ成り立ちます。一步一步進んでいきましょう！

【乳幼児教育相談 「1月のお便り」より】

幼稚部

幼稚部最後の冬休みはいかがでしたか。子どもたちから冬休みの楽しかった話を聞くのが楽しみです。11日（火）と12日（水）はお友達と絵日記を見せ合って、冬休みのお話をします。お互いに質問し合って、たくさんお話ができるとよいと思います。

14日（金）のお正月遊びです。学校では少しずつしか遊べませんが、どれも繰り返し遊ぶことで楽しさがわかってくる遊びです。特に、コマ回しや羽根つきは、根気強く練習することで上手にできるようになります。頑張ったらできたという経験をさせてあげてください。お手玉、だるまおとし、けん玉などにも挑戦してみてください。

これから少しずつ、卒業に向けての話をしていきます。まずは将来の夢の話から始めます。お父さんやお母さんが生まれてから現在に至るまでのお話をしあうことで、赤ちゃんだった自分がこれから大人へと成長していくことをイメージしやすくなります。どんな大人になりたいかな、どんな仕事がしたいかなとゆっくりお話をきいてあげてください。幼稚部を卒業して小学生になることで、子どもたちの人生は大きく一歩前へ進みます。幼稚部でしたことを振り返り、一緒に遊んだり、いろいろなことを教えてくれたりした友達や先生、家族への感謝の気持ちを持ち、小学生になることを楽しみにしてほしいと思います。卒業を意識することで、いろいろなことを考え、卒業までにさらに大きく成長していくことを期待しています。



【幼稚部3年「たんぽぽつうしん」より】（毎回学年・クラスを変えて紹介します）

小学部

冬季休業明けからコロナ第6波が猛威を振るっているため、休み時間の前庭や体育館の使用もクラスごとに割り振られ、他は教室で、といった限られた条件の下で、子どもたちは工夫しながら毎日を過ごしています。教室では折り紙や粘土で個々に遊んだり、コマ回しを楽しんだり、タブレットではタイピングやワオっち！（お仕事体験のアプリ）、すみっこぐらしの動画など、それぞれお気に入りを見つけているようです。

早くみんなが集まって遊べるようになる日がくることを願うばかりです。

冬休み作品展

冬休み明けに行った書初めの展示が終了しました。一人ひとりが集中して取り組み、どの作品も子どもたちの力のこもった、個性の表れたもので、新しい年にふさわしい作品展となりました。作品展終了後は持ち帰りますので、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。

先輩の話を聞く会

2月9日（水）の1時間目に高等部3年生の話をきく会があります。高等部3年生の小学部時代の思い出や将来の夢、そして小学部の子どもたちに伝えたいことなどを話してもらいます。実施方法については検討中です。

【「小学部便り」より】

中学部

2022年、寅年がスタートしました

干支が丑から寅へバトンタッチし、2022年が始まりました。中国伝来の十二支では、寅年は「春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態」とされています。中学時代の3年間はまさにこの状態といえます。体の成長はもちろんのこと、心の成長も著しいこの時期、多くの悩みと戦うこととなりますが、大人になる前の大切なステップですので、ご家庭と学校とで大切にその成長を見守っていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

生徒会新役員選挙始まる【1/12~】

1/12に選挙管理委員会による「新役員選挙の告示」がありました。選挙の内容、受付の方法、選挙活動から投票までの流れなど細かく説明があり、そこで立候補の気持ちを固めた生徒もいたようです。翌日からの立候補受付に例年よりも多くの生徒が来ました。生徒会役員は生徒たちの前で話す機会も多く、将来のためにもとても良い経験になります。立候補を決めたお子様には、ぜひご家庭でも暖かい励ましと応援をよろしくお願いいたします。

百人一首大会がありました【1/13】

生徒たちは大会までの間、好きな歌を暗誦したり、「一字決まり」などを覚えて上の句だけでとれるように工夫したりと練習を重ねてきました。今年度の百人一首会場は広い多目的ホール。巨大なスクリーンに映し出される上の句、読み手の声、初めの五文字の指文字などからすぐさま下の句の札を探す生徒たち……。ゴザがめくれ上がるほどの強烈なダイビングを試みたり、目当ての札のみならず周りの札ごと豪快に飛ばしたりと珍場面も数々ありました。また、慣れない正座ですっかり足がしびれ、休憩時間に足を伸ばしてしびれを解消する生徒も多くいました。取れた札の枚数は別として、緊迫した雰囲気のある百人一首大会を皆楽しめたようです。個人戦で優勝した2年Sさんのコメントです。「70枚くらい覚えて練習してきたので、優勝できてうれしかったです!(^)!」。

【「中学部だより」より】

高等部

誰もが知る「初心忘るべからず」は、もともとは世阿弥のことば。現代では、「物事に慣れると慢心（油断）してしまいがちだが、最初のころの志を忘れてはいけない」という意味で使われることが多いです。しかし、世阿弥のことばはもっと深い意味があるといわれています。

世阿弥は能を生み出した室町時代の芸術家です。「初心忘るべからず」は、世阿弥の芸をまとめた作品『花鏡』の最後に出てくることばなのです。「是非の初心忘るべからず」は『未熟だったときの芸を忘れることなく、さらなる向上を目指していかなければならない』、「時々の初心忘るべからず」は『その年齢にあった芸に挑戦するということは、その時点で初心者であり、未熟であるということを知ってはいけない』、そして「老後の初心忘るべからず」は、『年を重ねて初めて行う芸というものがあり、初心がある。年をとったからもういいとか、完成したとかということはない』ということをお説きしています。初めてのことに取り組むときの新鮮な気持ち、初々しい気持ち以上に、“自分の未熟さを忘れるな”ということですね。

1月7日（金）、冬休み明けに書初めを行いました。いずれも力作で、一筆一筆にみなさん一人ひとりの個性がみられました。書初めにこめられた思いや誓いをもとに、お互いの良さを尊重しながら資質や能力を高め合える関係、よりよい高等部生活を築いていけたらと思います。これは、一朝一夕でできることではなく、日々の生活の積み重ねです。世阿弥のことば「初心忘るべからず」を胸に、“自分はまだまだだ”“さらなる努力は必要だ”という謙虚な気持ちを持ち続けてください。他のみなさんの作品や先生からのコメントを読んでみましょう。自分だけではなく、他のみなさんの考えや行動などで良い部分やプラスになる部分を学んでいくことも良いでしょう。みなさんからのみなさんのさらなる飛躍を願っています。改めて、今年もよろしくお願いいたします。

【「高等部だより」より】

是非の初心忘るべからず。

時々の初心忘るべからず。

老後の初心忘るべからず。

		2月の行事	PTA関係
1	火	小:IUI 高3:特別時間割、後期末試験	
2	水	幼:諸検査 小:保護者講座	PTA成人学級委員会
3	木	幼稚部:交流	
4	金	中・高:読字力検定 高:ダンスレッスン	
5	土		
6	日		
7	月	幼:雛人形の話 小:入学説明会 高:ダンスレッスン 高3:個人面談週間(～14日)	
8	火	教育相談	PTA運営委員会
9	水	小:先輩の話を聞く会 中:入学調査・入学説明会	
10	木	臨床相談 幼:交流 高:合格発表、ダンスレッスン	
11	金	建国記念の日	
12	土		
13	日		
14	月	幼稚部:合奏、手話勉強会 高1・2:後期期末試験(～16日)	
15	火	幼稚部:身体計測 中学部:後期期末試験(～16日)	
16	水	中学部:水早下校	
17	木	幼稚部:交流、入学説明会	
18	金	高3:校外学習①	
19	土		
20	日	中・高:英検二次	
21	月	幼3・小・中・高:学年末懇談会	
22	火	幼:1・2学年末懇談会 小:IUI 高3:校外学習② 小中高連絡会 通級保護者懇談会	
23	水	天皇誕生日	
24	木	幼稚部:交流	
25	金	高等部:卒業式予行	
26	土		
27	日		
28	月		
		3月の行事	PTA関係
1	火	高等部卒業式(登下校時刻変更) 幼稚部:交流	
2	水	個人面談・授業参観週間・下校時刻変更(～8日) 幼:お別れ会	
3	木	幼稚部:身体計測	
4	金		
5	土	高等部:入学説明会	
6	日		
7	月	教育相談 幼稚部:誕生会	
8	火	幼3:遠足 中3:特別時間割	PTA運営委員会
9	水		
10	木	幼稚部:交流 通級(小)終了式	
11	金	小・中卒業式予行	

お知らせ

- 今月初めから通常時程に戻したばかりなのに、再び時差登校・短縮時間割となってしまいました。保護者の皆様にはその対応等でご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。子どもたちも、生活リズムを乱したり、大きな不安を抱えたりすることがあるかも知れません。子どもたちの様子に何か変化がありましたら、その旨を担任に伝えてくださるようお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い、本校ではコロナ対応策を改めて見直し、再徹底を図るよう全職員で確認・実行しています。その内容等については「保健だより」でお伝えしますので、ご確認ください。
- 横浜市PTA連絡協議会主催の「第13回市P連三行詩コンクール」で、高等部3年の青木さんが奨励賞、同2年の覚明さんが佳作を受賞しました。右は、ご両親への感謝を表した青木さんの詩です。

親からの初めての贈り物
世界に一つだけの私
心臓の動く奇跡を
いつまでもいつまでも

